昭和57年度定時総会報告

関西自然保護機構事務局

5月16日(日曜日)大阪市立自然史博物館集会室にて昭和57年度関西自然保護機構定時総会が開催されました。午後1時40分に開会され、出席定足数（委任状を含めて68名）充当に付き、会議は成立し下記順序にて議案は慎重審議、とどこおりなく2時10分に終了しました。

1. 司会者より総会成立の後、議長に布谷知夫氏、議事録小川房人氏を指名、議事に入る。

議事事項

第1号議案　昭和56年度事業報告及び決算の件

策2号議案　昭和57年度事業計画及び予算の件

第3号議案　役員改選の件

2. 理事長・朝日　稔氏より議案説明、質疑応答の後、上記は万場一致で承認され総会を終了した。

昭和56年度事業報告

1．基礎研究の実施

1）近畿地方における自然破壊の進行と実態に関する研究

2）環境指標生物に関する研究

3）Human Inpactについての研究

2．会議の開催

1）総会の開催　昭和56年5月17日

2）理事会の開催　昭和56年4月18日

3．シンポジウム及びセミナーの開催

1）シンポジウム　5月17日開催

「環境指標生物」

シンポジウム　11月29日開催

「稀少動植物の現状と保護」

2）セミナー　8月30日開催

美浜原子力発電所視察会

4．自然保護及び自然環境保全に関する調査研究に対する指導及び助成

研究テーマ　員弁川に生息するネコギギの分布と環境調査

代表者　藤原かおる氏

助成金額　20万円

研究テーマ　兵庫県川西市のタンポポの分布と環境

代表者　中西　敏昭氏

助成金額　13万円

研究テーマ　ヒバリのせいそく状況からみた府下自然破壊度

代表者　西村　順吉氏

助成金　10万円

5．国内外の諸団体との連絡協力

1）連絡紙の発行

会報　No. 7昭和56和10月

KONCNEWS　No. 10昭和56年5月

No. 11昭和56年7月

6．自然保護に関する基礎資料の収集と配布

7．受託研究委託者

1）研究委託者　関西環境総合センター

研究課題名　貯水池の水際緑化手法の調査

研究金額　220万円

委託費用使用精算書

自　昭和56年4月1日

至　昭和57年3月31日

適　　要	金　　額
旅費・交通費	40,000
使用消耗資材費	1,268,600
謝礼金・人件費	891,400
合　　計	2,200,000

2）研究委託者　和歌山市役所

研究課題名　友ヶ島学術調査

研究金額　300万円

昭和57年度事業計画

1．基礎研究の実施

1）近畿地方における自然破壊の進行と実態に関する研究

2）Human Inpactについての研究

3）大台ヶ原の生態系の研究

2．自然保護及び自然環境保全に関するシンポジウムの開催

1）セミナー　第1回　5月16日開催

昭和56年度収支決算

収入総額　4,063,215円
支出総額　3,811,317円　　自　昭和56年４月１日
差引残高　251,898円　　至　昭和57年３月31日

(収入の部)

款	項　　目	56年度予算額	56年度決算額	備考・増減
会費収入		5,200,000	2,560,000	▲2,640,000
	正会員会費収入	600,000	260,000	▲340,000
	維持会員会費収入	4,300,000	2,300,000	▲2,000,000
	賛助会員会費収入	300,000	0	▲300,000
寄付金収入		300,000	0	▲300,000
	寄付金収入	300,000	0	▲300,000
特別会計収入		0	1,000,000	△1,000,000
	特別会計収入	0	1,000,000	△1,000,000
諸収入		500,000	503,215	△3,215
	利息その他	500,000	503,215	△3,215
	合　　計	6,000,000	4,063,215	▲1,936,785

(支出の部)

款	項　　目		56年度予算額	56年度決算額	備考・増減
法人費			3,200,000	2,448,925	△751,075
	人件費		2,150,000	1,948,120	△201,880
		職員報酬	2,000,000	1,810,000	△190,000
		交通費	150,000	138,120	△11,880
	需要費		1,000,000	491,475	△508,525
		通信費	350,000	216,420	△133,580
		消耗品費	150,000	18,410	△131,590
		旅費	50,000	37,220	△12,780
		事務所維持費	250,000	210,125	△39,875
		雑費	200,000	9,300	△190,700
	会議費		50,000	9,330	△40,670
		会議費	50,000	9,330	△40,670
事業費			2,800,000	1,356,230	△1,443,770
	調査研究費		1,100,000	438,210	△661,790
		調査研究費	1,100,000	438,210	△661,790
	シンポジウムセミナー開催費		150,000	100,600	△49,400
		シンポジウム開催費	100,000	83,250	△16,750
		セミナー開催費	50,000	17,350	△32,650
	助成金		400,000	430,000	▲30,000
		調査研究助成金	400,000	430,000	▲30,000
	印刷費		1,100,000	387,420	△712,580
		資料印刷費	1,100,000	387,420	△712,580
予備費			50,000	6,162	△43,838
	合　　計		6,000,000	3,811,317	△2,188,683

昭和57年度予算案

収入総額　5,000,000円　　自　昭和56年4月1日
支出総額　5,000,000円　　至　昭和57年3月31日

(収入の部)

款	項　目	56年度決算額	57年度予算額	備考・増減
会費収入		2,560,000	4,200,000	△1,640,000
	正会員会費収入	260,000	600,000	△340,000
	維持会員会費収入	2,300,000	3,500,000	△120,000
	賛助会員会費収入	0	100,000	△100,000
寄付金収入		0	400,000	△400,000
	寄付金収入	0	400,000	△400,000
特別会計収入		1,000,000	0	▲1,000,000
	特別会計収入	1,000,000	0	▲1,000,000
諸収入		503,215	400,000	▲103,215
	利息その他	503,215	400,000	▲103,215
	合計	4,063,215	5,000,000	△936,785

(支出の部)

款	項	目	56年度決算額	57年度予算額	備考・増減
法人費	人件費		2,448,925	2,900,000	▲451,075
	人件費		1,948,120	2,200,000	▲1,728,120
		職員報酬	1,810,000	2,000,000	▲190,000
		交通費	138,120	200,000	▲61,880
	需要費		491,475	650,000	▲158,525
		通信費	216,420	300,000	▲83,580
		消耗品費	18,410	30,000	▲11,590
		旅費	37,220	50,000	▲12,780
		事務所維持費	210,125	250,000	▲39,875
		雑費	9,300	20,000	▲10,700
	会議費		9,330	50,000	▲40,670
		会議費	9,330	50,000	▲40,670
事業費			1,356,230	2,100,000	▲743,770
	調査研究費		438,210	900,000	▲461,790
		調査研究費	438,210	900,000	▲461,790
	シンポジウムセミナー開催費		100,600	100,000	△600
		シンポジウム開催費	83,250	70,000	△13,250
		セミナー開催費	17,350	30,000	▲12,650
	助成金		430,000	500,000	▲70,000
		調査研究助成金	430,000	500,000	▲70,000
	印刷費		387,420	600,000	▲212,580
		資料印刷費	387,420	600,000	▲212,580
予備費			6,162	0	△6,162
	合計		3,811,317	5,000,000	▲1,188,683

環境アセスメントの諸問題

2）自然保護及び自然環境保全に関する現地見学
昭和57年８月予定　矢橋の人工島

3）シンポジウム　11月開催予定

3．自然保護及び自然環境保全に関する調査研究に対する指導及び助成
56年度同様、一般公募により助成金を交付する

4．国内外の諸団体との連絡協力

1）連絡紙の発行
会報No.８　昭和57年５月予定
会報No.９ No.10昭和57年度中予定
KONCNEWS　随時発行

2）他の自然保護団体との交流

5．自然保護に関する基礎資料の収集と配布

役員改選

会則（定款）第14条により、昭和56年度で役員の任期が終るため、次期総会において新役員を選出する。

案　会長　四手井 綱英氏(再)
副会長　朝日　稔氏(再)　森下 正明氏(再)
理事　朝日　稔氏(再)　石井 健一氏(再)
小川 房人氏(再)　佐藤 治雄氏(再)
菅沼 孝之氏(再)　千地 万造氏(再)
牧　岩男氏(再)　渡辺 弘之氏(再)
監事　池辺 展生氏(再)　豊崎　稔氏(再)
（顧問）　今西 錦司氏　奥田　東氏

貸借対照表

資産の部		負債および資本の部	
（流動資産）		（資本の部）	
定期預金	8,000,000	基本財産	8,000,000
普通預金	3,093,779	前期くりこし金	375,607
現金	0	今期剰余金	251,898
		（負債の部）	
		友ヶ島委託金	2,000,000
		未払金	466,274
合　計	11,093,779	合　計	11,093,779

※保証金205,000は除く。　※未払金は、友ヶ島関係（１月～３月合計438,210）
※未収金　維持会費1,000,000　正会費1,065,000（56年３月末現在）※上記決算については会計監査を終了いたしました。

会務報告

1.セミナー報告

５月16日（日曜日）大阪市立自然史博物館においてセミナー「環境アセスメントの諸問題」が開催されました。初めに、朝日　稔氏のあいさつの後、「あるべき環境アセスメント」と題して、大阪大学医療技術短期大学部の林　智氏が、過去20年間の環境に対する日本社会の態度の変遷、環境アセスメントの現状そして、環境の質の問題へと環境アセスメント全般について講演されました。休憩後ひき続き、「関西新空港問題と環境アセスメント」と題して、京都大学原子炉実験所の岩本智之氏が、関西新空港を例として、アセスメントの設定方法、環境への影響標価基準、測定方法etc具体的な例をあげ、問題点について講演されました。総合討論においては、アセスメントのあり方、環境の質の問題etcについて討論され、セミナーを終了しました。

2．美浜発電所を見学して

山田紀子

美浜発電所の見学に誘われた時，ふと脳裡にひらめいたのは，まだ記憶に新しいあの，敦賀原子力発電所の放射能もれ事件です。

そのせいか，原子力発電所の見学に行くというだけで放射能を浴びに行くのではないかという暗いイメージを持って一瞬ためらった程でした。

しかし，いざ所内を案内されてみると，原子力発電に